

流店からの眺望

流店は、四方が外に完全に開放されています。支柱は、どの方向から見ても視界を遮らないよう、細くなっています。

東側に見えるのは、秋と春に数多くの楓や桜の木が庭を彩る、千入の森と桜林です。建物の正面からは、庭の芝生を 180 度見渡すことができます。南側からは、蘇鉄が一杯の蘇鉄畑や、花菖蒲畑へと続く八橋を望むことができます。南側には庭園の曲水（蛇行する水流）があり、建物の中を流れるゆっくりとした流れとは対照的です。北側には井田があり、その向こうには手入れの行き届いた茶畑の低木が並んでいます。また、岩が多い唯心山の裏側や、白い花を咲かせる大きなつつじの茂み、その周りの滝のように並べられた石なども見えます。